

事後研記録

6月23日(金)5限	公開研	教科	1年 英語
授業者	協力者	指導助言者	司会・運営
中村 希美 教諭	麻生 雄治 教授 (大分大学)	田代 和馬 指導主事 (大分県教育庁義務教育課)	三村 白根
学習内容(題材)	即興でのやりとり! Lesson3 Our New Friend		
本時のねらい	マチュー先生が知らない大分県の魅力的な場所についてメモを用いてペアの相手に伝える活動を通して、事実や自分の考え、経験、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いながら伝え合うことができる。		
協議の柱	問いの工夫は、学習者が問いを持ったり、問いを持続、深化していったりするために有効であったか。		

【生徒による発表】

<p>○本番は外国の方に発表するので、どうすれば相手がこちら側の知識がない状態でわからせるか。そのために、その場所について知っているか尋ねたり、魅力だけでなく、具体的な施設の機能も伝えたりできたかと思う。今日はある程度その場所の知識がある友達が大事だったので、本番では知らない人とどう会話するかを意識したい。(Yさん)</p> <p>○どのようにすれば、知らない人にもわかりやすくなるか。それには、わかりやすい画像を選んだり、難しい言葉を繰り返すのではなく、簡単な言葉で伝えたりすることが大切。次は、何も知らない人がわかるように伝えるということに頑張りたい。(Hさん)</p>
--

【生徒への質問】

質問	所属・名前	回答
先生のオールイングリッシュ、あのペースとあの量は大丈夫なのか？小学校のころはそこまでオールイングリッシュはなかった。	大分大学附属小学校 桐野先生	Eさん：慣れていない人もいると思うが、新しく覚えた単語なども先生が使ってくれるので、入学してから慣れた。 Fさん：みんながわかるような簡単な英語や単語を中村先生が教えてくれるのでみんなだんだんわかるようになってきた
相手の話を聞いて、質問しようとした時、困りましたか？うまく質問できていない生徒もいたかと思う。	大分豊府高校 房前先生	Eさん：日頃からペアで聞き合う活動があり、その都度先生が質問内容を教えてくれるので大丈夫だった。
どうやって新しい表現を覚えているのか？みんなで一斉にメモをする時間は今日なかった。	大在中学校 橋迫先生	Eさん：班活動、ペア活動で教え合っている。 Fさん：振り返りシートに書く。板書を撮影したCBのアップ画像を見る。友達に聞く。
英語で反応しようとする姿が小学	大分教育事	Eさん：中村先生が英語で説明してそれを理解する

校とつながっていた。ところで、小学校外国語から「英語」になって「これは違うな」と感じることはなにか？	務所 二宮先生	ところ。 Fさん：小学校では単語を並べて、文を作る。中学校では文脈で英語を入れる。そこが違う。
--	------------	--

【質疑応答】

質問	所属・名前	回答
(意見) 本時の目標が「～伝え合う」。先生がシャワーのように表現を与えて、生徒がすぐ使うところは素晴らしかった。質問がでなかった点については、大分のことはたいてい知っているから。同級生でも知らない場所、つまり経験を尋ねたらよりよかったのではないか。相手の経験を聞くフレーズとその場所について聞くフレーズというふうにグルーピングして示したらよりよかったのではないか。	大分豊府高校 房前先生	グルーピングというのが大きなヒントになった。未習の表現ではあるが、わかりやすく図式化したものを作っていきたい。
くらげチャートを選んだ理由	質問紙より	マインドマップが難しい。全部の枠を埋めなくてもよいよさがある。生徒が文を入れてしまうことがあるが、本当は単語を入れてほしい。くらげチャートに特別な理由はない。
翻訳機能を使う際の生徒との約束事は？	質問紙より	<p>キーワードを書くようにとは指導しているが、文章を翻訳する生徒もいる。しかし、今言いたいことをすぐ知って自分の中に落とし込めば、自分の表現の幅が増えるのではないかと思っている。</p> <p>(桐野先生) 小学校では「調べて言っても相手かわからない」なら意味がない、というスタンスで指導している。小学校では今知っている範囲でいかにして伝えるか、を大事にしている。</p> <p>(中村先生) 明らかに CB の表現とわかるものは線を引いて、もう少しわかりやすい文にするように、というふうに指導する。</p>

【指導助言： 田代 和馬 指導主事（大分市教育委員会）】

○生徒が英語で何と言えよいか分からない場合の指導

端末を活用すれば便利だが、思いついた日本語を全文入力して、英文に変換する生徒の姿が見られた。端末を使う前に、既習知識から別の言葉で表現できないかを考えさせるなど、自分の力で表現できるよう指導することが大切。

○小中連携

授業導入時に、小学校の教科書で学習したことがあるトピック”Where do you want to go?”で Small Talk を行っていた。小学校の学びを中学校に生かし、円滑な接続を図る取り組みを今後も継続してほしい。

○英語で授業を行うこと

教師が英語で授業を行うことにより、授業全体が実際のコミュニケーションの場となっていた。ただし、生徒の理解の状況に応じて行うことが大切。

○聞く目的を持たせる工夫

単に英文を聞かせて内容把握させるのではなく、ALT が話す内容の「カテゴリー」に着目するよう教師がポイントを示し、必要な情報を聞き取らせていた。聞く目的があると、生徒も主体的に聞くことができる。

○言語活動における目的や場面、状況の設定

- ・「『フィリピンの先生が行ってみたいと思うように』大分県の魅力的な場所を紹介する」といった、言語活動の目的が明確に設定されていた。目的意識や相手意識があることによって、生徒が自らの表現内容を工夫することへとつながる。
- ・単元の目標を踏まえて、本時でも「マチュー先生が行ってみたいと思うように」という目的を設定すれば、生徒が互いに伝え合う際、さらに表現内容を工夫することにつながったと考えられる。

○単元終末の言語活動における生徒の姿を想定すること

- ・単元の目標や指導計画から、単元終末に、フィリピンの先生と大分県の魅力について伝え合う言語活動が設定されている。しかし、本当にフィリピンの先生と大分県について伝え合うことができるかは疑問が残る。友だちとのやり取りを通して表現内容を充実させ、単元終末に大分県の魅力をフィリピンの先生に話す活動を行うのであれば、可能であると考えられる。
- ・単元終末の言語活動における生徒の姿を想定し、そこから単元の目標や評価規準の設定を行うことで、指導と評価の一体化にもつながる。

【協力者： 麻生 雄治 教授（大分大学）】

今日の授業から何を学ぶか、今後何を考えるか考慮するか、

まず振り返る時の視点

教師論 教材論 評価論 方法論の4つがあるのがいい授業。

教師論・・・どんな先生か、人間的な先生の魅力 生徒との信頼関係 先生の発話（声の大きさ 聞き取りやすいか さらに上手なら笑いがあるか）

学習者は楽しかったというだろう。

学習者の声の大きさは日頃のトレーニング、よくできていた。

授業の中に体育的な要素が入っている。よい。

学習者の達成感がふりかえりに出たらよい。

教材論・・・全員にあわせるべき。習熟度に合わせて

自分だけではできないが友達などの援助があるとちょっと伸びていく。少し頑張ると伸びるのでその場面があるとよい。

机間指導・・・習熟度に応じた指導に直結。今日、わからない人が手を上げていたところがよかった。

教材の内容を学習者の興味関心があるものにして点よかった。

ワークシート・・・思考の後が残るワークシートがよい。

板書は思考の過程が残らないといけない。

分量的にも内容的にも今日のワークシートはよかった。

マインドマップは、子どもたちは楽しくやるが、それをもとに作文しようとする、数が多くてうまくできない。クラゲチャートはよかった。

方法論・・・talk!とえば、すぐ話す。よかった。

ほとんど英語でやっていたよよかった。

言語活動があるか・・・国語と英語は言語活動を通じて力をつける。国語は音読も言語活動だが、英語は違う。自分のことを伝えるのが言語活動。今日の授業には言語活動があった。

テンポがよい。タイムマネジメント。小刻みに時間を区切るのがテンポを作る。

評価論・・・先生がどのくらい生徒がわかっているかをわかっているかどうか。今日は先生が、生徒に言わせていたので、先生はわかったのではないか。

フィードバック・・・これができるかどうかを大事。先生はかゆいところに手が届く。

ちょっとわからないところに愛の手を差し伸べる。

リキャストがあった。

子供たちに投げる、というフィードバックは初めてで勉強になった。

発音について。全てを矯正しますか。誤りはどの程度許しますか？

今日は「やりとり」→どうしたらよかったか。

「やりとり」が成立するには「あるテーマについて1人2回以上質問すること」が必要ではないか。目的・場面・状況が必要。

質問のテンプレート、最初はいくつかたくさん練習させること。

テンプレートが行きすぎるとワンパターンになる。バリエーションが増えていくのいい。

【質問用紙への記述】

- とても素晴らしい授業を見させていただき、ありがとうございました。単元末のオンライン英会話について少し詳しく教えてもらいたいです。どのようにするのか、これまでもやったことがあるのか、興味があります。
- 生徒は ipad ですぐに調べたりしていましたが、あれはグーグル翻訳とかですか？いつもすぐに立ち上がるようになっているのでしょうか。生徒も使うのも慣れていてよかったです。
- くらげチャートを選んだ理由。
- 普段グーグル翻訳をどう使わせているか（注意点など）
- 今日、ターゲットとして言語材料は？
- Have you seen Aurora? の様に、習っていない文法やフレーズを使って質問することはありますか？また、それに対して何かしらの返答をしたり、反応する生徒はどのくらいいますか？
- 英語で言いたいけど、言えなかったことがあった時はいつもどのように解決しているか（手を挙げて先生に聞けなかった時）
- 紹介したいものについて、即興で英語で話すことは難しいと思いますか？また楽しいと思いますか？
- CBで翻訳機能を使う際の、生徒との約束事などはありますか？（例：一文での検索はNGなど）
- 英語の授業で一番楽しい活動はどの活動ですか？
- わからない語彙をタブレットで調べることのメリット・デメリットは何でしょう？
- 本文の扱いはどうされていますか？（音読のレパートリーなど普段よくされることはどんなものか）
- 紹介場所を選ぶ時にどのようなことを考えて決めましたか？
- グーグル翻訳を使うことで生まれる誤訳に対してはどのような対応をされますか？